

ワンちゃん（イワヤ製）の修理法（脚など折れ）

2016.02.08/2022.07.08 改訂

トミー・マック

1. 外 観

2. 特 徴

トコトコ前進、後ずさりしながら尻尾を振って鳴きます。最近では音声合成でしゃべったり、音に反応してお手をするなど高級化しています。

3. 故 障

落としたり、踏みつけられたりして、脚の骨折、また脚のメカの軸が折れることもあり、歩き方がおかしくなります。



4. 修 理

(1) 分解前のチェック

電池の消耗度、電池端子の錆を確認します。

(2) ぬいぐるみのホットメルトを温め

まず、ドライヤーをお腹の電池収納部の周囲4辺に当て、ぬいぐるみを接着したホットメルトを柔らかくします。ドライヤーで温めなくてもぬいぐるみが外れる場合は、省略しても良いです。



(3) ぬいぐるみの剥がし

電池収納部の周囲に、先の細い小さなマイナスドライバーを入れます。

布を破らないように、マイナスドライバーで布を引き出します。



ワンちゃん（イワヤ製）の修理法（脚など折れ）



全周の布を引き出します。

まず後脚を1本ずつ、布を先端へ引張り、布の端面から布と脚の間にプラスドライバーの先を入れ、布を滑らせるようにして外します。



このように、2本の後脚の布を外します。



尻尾の布も、真っ直ぐ後側に引っ張るようにして剥がします。無理にこじると、樹脂の尻尾が折れることもあるので、注意が必要です。



次に、前脚が前方に伸びたような位置に止めてから、布を前脚から剥がします。2本の前脚の布を剥がします。



ワンちゃん（イワヤ製）の修理法（脚など折れ）

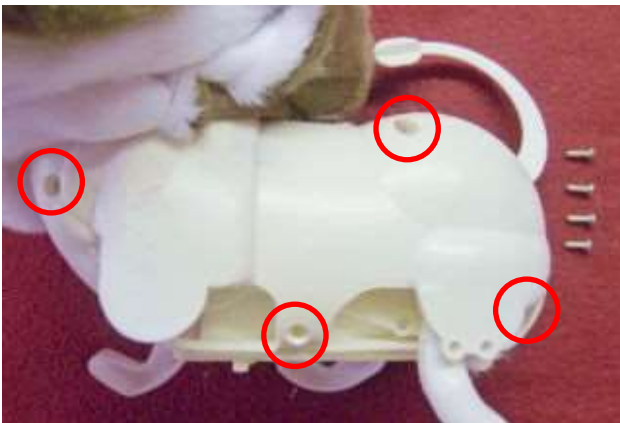
これがすべての脚を剥がした状態です。



布を出来るだけ頭部までまくり上げます。

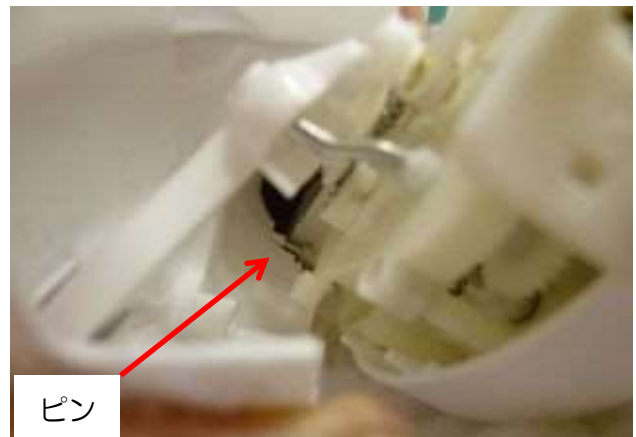


（4）機構部のカバーの外し



左側面のネジ4本、右側面のネジ1本を外します。

左側面ケースを外すには、左前脚や左後脚を1本ずつケースのスリット穴から外し、首下近くの両ケースを留めているピンを外して、左側面ケースをずらします。



（5）後は、内部の故障状態に応じて治療処置

（a）故障状態1：脚の折れ

（故障状態）折れた脚。



ワンちゃん（イワヤ製）の修理法（脚など折れ）



修理後

（修理）

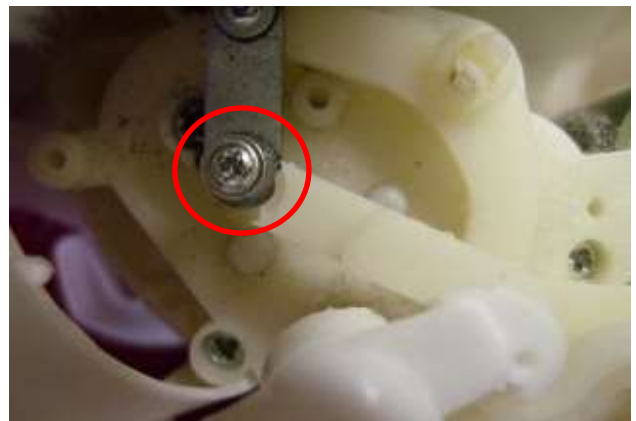
- 折れた脚の固定に、ステンレス線φ0.9を添え木とします。
- ステンレス線φ0.9をまたぐような位置にφ0.5~0.6の穴を開け、その穴にステンレス線φ0.3を通して固定します。
- 最低4か所。そして固定を確実にするため、接着剤PPXを垂らして接着します。

（b）故障状態2：クランクシャフトの支点受けの折れ

（故障状態）折れた支点受け。

（修理）

折れた軸受けの代わりにアルミ線φ0.9で軸受けを形成し、ステンレス線φ0.3で固定します。そして固定を確実にするため、接着剤PPXを垂らして接着します。



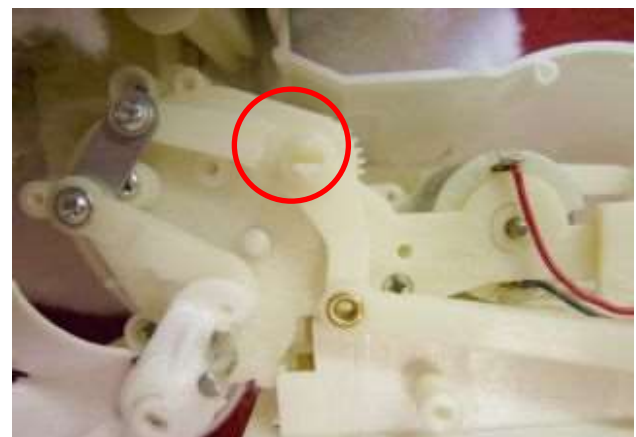
修理前



修理後

（c）故障状態3：クランクシャフトのシャフトの折れ

（故障状態）シャフトの折れ。



ワンちゃん（イワヤ製）の修理法（脚など折れ）

（修理）

折れたシャフト同志を固定するため、ステンレス線φ0.9を2本添え木とし、樹脂にφ0.5～0.6の穴を開け、ステンレス線φ0.3で固定します。そして固定を確実にするため、接着剤PPXを垂らして接着します。

修理前



修理後



（6）機構部のカバーの留め

内部の故障を治療した後、首下ピンにて左右側面ケースを合わせ、ネジで固定します。

（7）ぬいぐるみを着せる



前脚を前脚布袋に1本ずつ収めます。



前脚が前方へ伸びたような位置で止めてから、



ワンちゃん（イワヤ製）の修理法（脚など折れ）

次に尻尾を尻尾袋に入れます。
無理に曲げて入れ、尻尾を折らないこと



左右の後脚も後脚布袋に入れます。

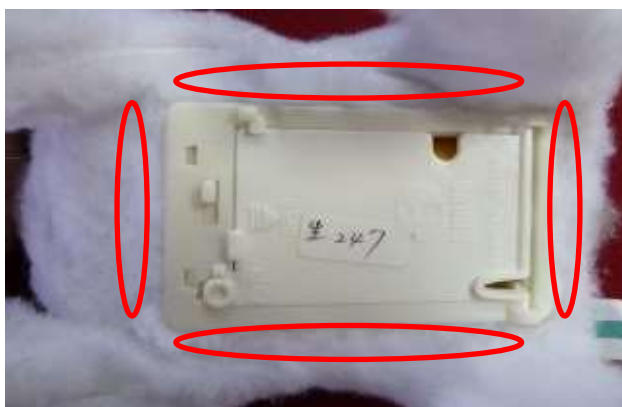
(8) ぬいぐるみの固定

まず、電池収納部の一辺の根元近く布を引張り、左右側面ケースを露出させます。



その露出した左右側面ケースに一滴ずつ、1辺当たり3ポイントにホットメルトを落とし、布を押し込みます。

ホットメルトが固まらない内に、素早く布を電池収納部の隙間に、小さなマイナスドライバーで奥へ押し込みます。



この作業を4辺毎に順次に行い、全周に布を押し込み接着します。

ワンちゃん（イワヤ製）の修理法（脚など折れ）

完 成